

「横浜市立大口台小学校 学校地域支援本部」より

横浜市立大口台小学校学校地域協働本部は本校学区の皆さんのお力添えにより組織されています。

目的は大口台小学校の教育活動の一助となりうる活動を行いながら、子どもたちの健やかな成長を願うことにあります。

コロナ禍の中ですが、学習支援では「体力測定の計測」「運動会の運営補助」「むかし体験授業補助」、安全支援では「登校時見守り活動」、地域連携支援では「PTAぐちっこまつり」「たちばな会ふれあい給食」等の支援の実施及び計画を立てています。

今後とも真心を心の中に置き、子どもたち、ご家庭の皆様にご家庭の皆様に大口の町の香りを感じて頂けるような活動をしていきたいと思っております。

学校地域コーディネーター 岡井 誠 山本和義



人権コラム

4年生 盲特別支援学校について知ろう ～目隠し歩行体験～



総合的な学習の時間で、近所にある盲特別支援学校のことについて学習しています。目の不自由な人はどんな生活をしているのか、児童は興味をもって取り組んでいます。目隠し歩行体験では、サポートがないと怖い、まっすぐ歩くことができなかつたなどの感想をもちました。周りが騒がしいことにも不安を感じたようで、「登下校時に盲学校の人に会ったら静かに歩きたい」という気づきもありました。

また、道徳では「電車で目の不自由な人に会ったらどうするか」についても話し合っています。



国際理解教室～世界の国について知ろう～

今年度も国際理解教室が始まりました。国際理解教室では、外国人の先生との活動を通して異文化に触れる活動をします。6年間で世界の様々な地域の文化に触れ、それぞれの地域の文化などについて理解を深めていきます。過去には、タンザニア、ウクライナ、フィリピンなどの文化に触れてきました。

今年度は、中華人民共和国出身の井口小娟（イグチ ショウケン）先生が子どもたちに中国のあいさつや特色などを教えてくださいます。はじめての授業では「早上好！」と朝のあいさつを交わしたり、中国と日本の違いに関するクイズをしたりしました。たくさん子どもたちが興味をもって参加している様子が見られました。

【2】



学年コラム

1年生 ドキドキ！初めての授業参観！

初めての授業参観では、普段と同じひらがなの授業+ことば遊びの様子を見ていただきました。ひらがなの学習では「どんなところに気をつけて書いたらよいだらう」という気付きを学習のめあてにして、授業を行っています。また、字を書くときのポイントについては、子どもたちの発表をもとに確認し合っています。いつもの流れを見ていただくことで、小学校の授業がどのようなものか、そしてお子さんがどのように取り組んでいるか、知っていただく機会になったかと思えます。

子どもたちは緊張したようでいつもよりも表情が硬かったですが、とてもよく集中していました。



3年生 まち探検に行ってきました

社会科「わたしたちのまちと市」の学習で、赤・青・緑コースのまち探検に行ってきました。学校の外に探検に行くのは初めてです。交通マナーやルールに気を付けながら、「土地はどのように使われているかな」「どんな建物や建物があるのかな」など、調べたいことを決めて探検しました。

各コースにはそれぞれ特徴があり、使われ方が違うということが分かりました。実際に行くことで、教室ではできない経験ができました。



畑があるよ!

6年生 選挙の出前授業



5月11日(火)に神奈川区役所の選挙管理委員会の方をお招きして、選挙の出前授業を行いました。

4人の児童による立候補者の演説を聞き、卒業に向けてどのようなことに取り組んでいきたいかを決めました。投票箱も本物を使い、実際の選挙と同じ流れで投票しました。

投票するのが意外と簡単という感想をもつ子どもも多く、将来選挙権をもったら投票に行きたいと考えていました。

選挙管理委員会の方に質問をする子どもたくさんおり、その意欲的な様子に驚かされていました。